



# ほふる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆  
～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～  
【今月の一冊】 あり方で生きる  
大久保 寛司 著 エssenシャル出版社  
ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2022年2月1日 Vol. 232  
発行元 有限会社プライム・コーポレーション  
代表取締役 渡邊 敏徳  
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地  
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

## 日本は豊かなのか？

昨年12月の日経新聞にこんな記事が載っていたそうです。

「日韓、27年に逆転1人当たり」という記事。日経センターの試算では、個人の豊かさを示す日本の1人当たり名目GDPが2027年に韓国、28年に台湾を下回ることも明らかになりました」という記事。

コロナ禍で世界中にデジタル後進国が露呈してしまった日本ですが、「行政などのデジタル化が遅れ、労働生産性が伸び悩むため」とも書かれています。

実は、IMF（国際通貨基金）統計の購買力平価による1人当たりGDP（2020年）では、香港11位59,136、台湾15位55,856、韓国28位44,750、日本は33位42,212（米ドル）と日本は既に下回っています。

（名目GDPは自国通貨で示されたGDPを、それぞれの自国通貨の対ドルレートでドルベースに変換。各国の対ドルレートの代わりに購買力平価でもってドル換算したものが購買力平価GDP）

さらに朝日新聞には『途上国転落』恐れる若者」という記事まで掲載されました。『日本＝先進国、韓国＝途上国のトップ』という認識を持っている人は多いと思います。しかし、韓国は世界12位の経済大国で先進国であるという現実を認識しなければなりません。

世界経済は、新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」が蔓延したことを受けて、各国は再び移動制限を課せられ、労働力不足が生じました。さらに旺盛な需要や食料・エネルギー価格の高騰もたらす圧力に拍車をかけました。

エネルギー価格上昇と供給中断によって、予想以上に激しいインフレが起きています。世界経済の成長率は2021年の5.9%から2022年には4.4%まで減速すると予想されている状況です。

日本は、コロナウイルスが起こる前年の2019年10月に消費税を10%に引き上げました。コロナ不況とされていますが、増税によるダブルパンチが影響しているとも言われています。バブル崩壊後失われた10年と言われて久しいですが、もう30年低空飛行です。私たちの国日本は本当に豊かな国なのでしょうか？私たちの子どもや孫の時代は世界各国に出稼ぎに行く時代がこないか本当に心配になってしまいます。



## 行動心理

私は前々から心理学にとっても興味があり、いろんな書籍を読んで勉強する機会を持っています。営業という仕事柄「行動心理」はとても気になっています。

「行動心理」を考えてみる中で、人はどのような心理でモノを購入しようとするのでしょうか。私も何度も経験がありますが、何かのきっかけで急に欲しくなって、つい衝動買いしてしまったこと。皆さんにもそんな経験があると思います。

そこで衝動買いしたのに対して、「これから本当に必要なものだし、とてもいいものだ」と言うように、自分に後から言い聞かせたりしたことがあるのではないのでしょうか。周りの人には、「同じものがあるじゃない」と言われても、「いや、本当に必要なんだよ」と説明したりしていませんか？こんな経験は一度や二度あるのではないのでしょうか・・・。

例えば、腕時計のバンドが切れてしまい、修理すれば使えるにもかかわらず、新しい腕時計が欲しいという気持ちが強くなってきます。まさに、「人は感情でモノを買い、理屈でそれらを正当化します」。このように、欲求や感情は理屈や理論より強いことが分かります。

また、一度購入したことがある会社から新商品のダイレクトメールがくると、購入経験者は、同じような商品に関する欲求を持ち続け、それを買いつける傾向があります。人の心理って面白いですね。



### 【座右の銘にしたい名言】



夢を追って、失敗してもいいじゃない。それでも何とかなるものよ。

（マヤ・アンジェロウ / 米国の詩人、作家、公民権運動家）